

定例記者会見資料



公立大学法人
島根県立大学

○日 時	平成 29 年 10 月 13 日 (金) 13 時 30 分～
○会 場	島根県立大学 本部棟 2 階 特別応接室
○会見者	清原正義 理事長・学長
○会見項目	<p>【浜田キャンパス】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アカデミックインターンシップの開催について ……………〔資料 1〕 <p>【松江キャンパス】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第 57 回 飛鳥祭 及び 記念シンポジウムの開催について ……………〔資料 2〕
○資料提供項目	<p>【3キャンパス共通】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成 29 年 保健管理センター健康教育講演の開催について ……………〔資料 3〕 <p>【浜田キャンパス】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成 29 年度「フレッシュマン・フィールド・セミナー」の開始について ……………〔資料 4〕 ・自己推薦入試出願受付について ……………〔資料 5〕 <p>【出雲キャンパス】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・護身術講習会について ……………〔資料 6〕
○行事予定	<p>【浜田キャンパス】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第 2 回オープンキャンパス …………… 10 月 14 日 (土) 11:00～15:00 ・第 2 回 「石見地域の助産師不足を考える」シンポジウム …………… 10 月 17 日 (火) 14:00～17:00 @コンベンションホール (交流センター) ・第 22 回 地連 Cafe …………… 10 月 18 日 (水) 15:00～16:20 @ラーニングcommons (メディアセンター1F) ・浜田市安全安心まちづくり推進大会／はまだ灯 2017 …………… 10 月 26 日 (木) 15:45～17:30／17:30～ @講堂 /@コミュニティプラザ ・保護者進路懇談会 …… 10 月 29 日 (日) 10:00～15:45 @講堂、体育館 ※10:00～12:10 @講堂のみ 取材可能です。 事前にキャリア支援室(【TEL】0855-24-2202)までご連絡ください。 ・海遊祭優秀団体表彰式 …………… 11 月 8 日 (水) 12:20～12:50 @会議室 (本部棟) <p>【学外予定】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・浜田高校との高大連携連絡協議会 …………… 10 月 20 日 (金) 18:00～ @浜田高校 ・「県内各界の意見等を聴く会」(島根県主催) …………… 10 月 24 日 (火) 13:00～15:00 @サンラポーむらくも

※会見及び資料提供に関する問い合わせは、資料に記載されている担当者あてにお願いします。
なお、行事予定の問い合わせは、以下のとおり、お願いします。

浜田キャンパス 企画調整室 TEL 0855-24-2201
出雲キャンパス 管理課 TEL 0853-20-0200
松江キャンパス 管理課 TEL 0852-26-5525

島根県立大学
マスコット
キャラクター
オロリン



※次回の定例記者会見は 平成 29 年 11 月 9 日 (木) 13:30 から開催予定です。

【資料 1】

平成 29 年 10 月 13 日
島根県立大学 浜田キャンパス
アドミッション室 松崎・竹口
電話 0855-24-2203

アカデミックインターンシップの開催について

1. 開催の意図

本学の学生とともに大学で学ぶ姿勢を体験することで、進学に対する明確なイメージを持ってもらうことを目的に、昨年度に引き続き開催します。

この機会を通して、本学への主体的な進路選択を促す一助となることを期待しています。

2. 日程、参加校及び参加予定人数

	参加日程	学年	人数 (予定)
江津高校	10 月 17 日 (火)	2 年生	50 名程度
津和野高校	10 月 31 日 (火)	2 年生	30 名程度

※別紙「平成 29 年度 秋学期時間割表(アカデミックインターンシップ用)」をご参照ください。

3. 内容

- ・受講講義を自由に選択して受講
※通常の授業に参加するため、本学学生の履修登録状況により制限される場合あり。
- ・学生食堂での昼食
- ・キャンパス内の自由見学
- ・本学学生との交流
- ・職員による、入試や学生生活、就職活動についての相談など

4. その他

- ・当日取材を希望される方は、本学教育研究支援部長 土井 (0855-24-2282) まで事前連絡をお願いします。

平成29年度 秋学期時間割表(アカデミックインターンシップ用)

	月曜日			火曜日			水曜日			木曜日			金曜日		
	科目名	担当	教室	科目名	担当	教室	科目名	担当	教室	科目名	担当	教室	科目名	担当	教室
1時限目 自 9:00 至 10:30															
2時限目 自 10:40 至 12:10				福祉社会学(福祉社会論)	齋藤(暁)	大講2	10月17日(火) 江津高校 10月31日(火) 津和野高校 アカデミック・インターンシップ対象講義								
				日本朝鮮半島交流史	石田	中講3									
				中国経済論	張(忠)	大講1									
3時限目 自 13:10 至 14:40				統計分析技法	松田	中講3									
				生活時間構造論	藤原	大講1									
				芸術学	八田	中講5									
4時限目 自 14:50 至 16:20				哲学	大前	中講5									
				民法と家族	李(憲)	大講1									
				インターンシップ入門(隔週)	松尾	中講3									
				平和学基礎論	濱田	中講2									
5時限目 自 16:30 至 18:00															

平成 29 年 10 月 13 日
島根県立大学短期大学部松江キャンパス
担当：教務学生課 伊藤
電話：0852-20-0216

【資料 2】

島根県立大学短期大学部 松江キャンパス大学祭 第 57 回 飛鳥祭の開催について

1. テーマ

「しまたんランド～ちょっと早めのハロウィンパーティー～」

来場者が遊園地のような夢の世界に来た気持ちになり、キラキラ輝く最高の思い出を作っていただけるようにとの想いを込めると同時に、本学に対する理解を深めてもらう機会となるように、今年のテーマを「しまたんランド」としました。バンドライブや人気のキッズランド（子ども向けアトラクション）は勿論のこと、今年はお化け屋敷も登場します。模擬店やサークル活動の成果発表など多くの企画を用意し、ご来場いただいた全ての方が笑顔になる飛鳥祭を目指し、実行委員一同、精一杯準備を頑張っています。

2. 日時・期間

平成 29 年 10 月 14 日（土）・15 日（日） 午前 10 時 ～午後 4 時 15 分頃

3. 場所・会場

島根県立大学短期大学部 松江キャンパス（松江市浜乃木 7 丁目 24-2）

4. 主催者・施行者・企画者

島根県立大学短期大学部学友会 飛鳥祭実行委員会

5. 内容・対象

別途チラシ添付

6. 出席者・参加人数

どなたでも参加できます

7. 参加方法・参加費・予算

入場無料（一部のアトラクション、模擬店で販売する商品は有料です）



平成 29 年 10 月 13 日
島根県立大学短期大学部松江キャンパス
担当：新学部設置等準備室 青木
電話：0852-20-0270

島根県立大学短期大学部 松江キャンパス大学祭「飛鳥祭」特別企画

記念シンポジウムの開催について

1. 名称

4年制 人間文化学部 & NEW 短期大学部 開学記念シンポジウム

2. 趣旨

松江キャンパスの新たな 4 年制学部「人間文化学部」の設置について今年 3 月末の申請の結果、8 月 29 日付けで文部科学大臣から認可がありました。これに伴い現行の短期大学部は、「健康栄養学科」が 4 年制化のうえ出雲キャンパスに移転し、「保育学科」「総合文化学科」の 2 学科構成による新たな短期大学部が誕生します。

平成 30 年 4 月の開学に向け、今年の飛鳥祭(学園祭)では特別企画として、記念シンポジウムを開催することといたしました。当日は、学生のみならず、現任の教職員、新任の教員就任予定者も一堂に集い、キャンパス全体として決意を新たに、“新生”松江キャンパスのスタートを切りたいと考えています。

3. 日時・場所

平成 29 年 10 月 14 日(土) 午後 2 時 ~ 4 時 10 分 松江キャンパス 大講義室

4. 内容

- ① 学長あいさつ 14:00 ~ 14:05 (5分)
- ② 来賓紹介 14:05 ~ 14:10 (5分)
- ③ 学部・学科概要(副学長) 14:10 ~ 14:25 (15分)
- ④ 記念講演 14:25 ~ 15:05 (40分)

藤岡大拙氏(名誉教授、元島根県立島根女子短期大学学長)

休憩 15:05 ~ 15:10 (5分)

- ⑤ パネルディスカッション 15:10 ~ 16:10 (60分)

[大学] 清原正義 学長

ダスティン・キッド・ジョン 講師

[卒業生] 三次遥香(H27.3 保育学科卒 雲南市立斐伊保育所勤務)

橋井友泉(H25.3 総合文化学科卒

NPO 法人松江ツーリズム研究会勤務)

[在校生] 三原菜々夏(保育学科 2 年)

津森愛実(総合文化学科 2 年)

[コーディネーター]

高尾雅裕氏(山陰中央新報(株) 取締役・論説委員会論説委員長)

5. その他

どなたでも参加できます



島根県立大学短期大学部
松江キャンパス



島根県立大学
マスコット
キャラクター
オロリン

飛鳥祭

大きくな
いけど、
楽しめ
ます。

日時

平成
29年

10月14日(土)・15日(日)

●午前10時～午後4時15分頃

※ブースによっては終了時間が異なります。

入場
無料

場所

島根県立大学短期大学部
松江キャンパス(総合運動公園横)

P 臨時駐車場を用意しております。詳しくは裏面をご参照ください。

しまたんランド

～ちよつと早めのハロウィンパーティー～

学生がつくる、2日限りのテーマパーク。
ようこそ、しまたんランドへ。



写真はイメージです。

@hkm_skg

島根県立大学短期大学部

検索

※最新情報を随時更新



9月の東名阪対バンツアー
“ずっと”SOLD OUT

1月に東名阪対バンツアー
“もっど”開催



学生サークルの発表や
地元高校生の発表も!

Saucy Dog

15日(日) 12:30~13:30 観覧無料

2013年11月16日 Saucy Dog 結成
2016年12月4日 MASH FIGHT vol.5 グランプリ受賞
2017年5月24日 1st mini Album
「カントリーロード」発売

Vo/Gt 石原 慎也 島根県出身
Ba 秋澤 和貴 高知県出身
Dr/Cho せと ゆいか 奈良県出身

「いつか」は宍道湖(松江)が舞台。
You Tube100万回再生超!!

Shimane Diva Project

「島根のアイドル」なのに、ロック・アーティスト「ギターウルフ」、「王様」とタイパンを果たす。TOKYO IDOL FESTIVAL 全国選抜ブロック選考に2年連続出場。

- 開星高校・県短合同吹奏楽
- ティンホイッスルサークル
- STDサークル
- 日本舞踊サークル

様々なステージがパークを盛り上げる!

ファンタジーステージ



大人も子どもも楽しめる素敵な場所、キッズランドに足を運んでみませんか? 今年のキッズランドの屋台の紹介です。

- ①ふわふわドーム
- ②石膏
- ③うちわ作り
- ④宝探し
- ⑤ストライクアウト
- ⑥ぶによだますくい
- ⑦お菓子つかみ取り
- ⑧パチンコby プレプレ松江キッズ

※キッズランドの屋台には一部有料コーナーもあります。

石膏は、あなたの手形をとります。小さなお子様からおじいちゃんおばあちゃんまで、今のあなたの手を形に残しませんか? 石膏とうちわ作りは、数量限定となっております。お早めにお越しください。

子どもに大人気のふわふわドームが登場!

キッズランド

両日
開催





出店名	出店内容
ゴーストみやげ研究所	団子/まんじゅう/サイダー
タビオカ屋	タビオカドリンク
茶道部お茶屋	生菓子
将軍御用達甘味処「杉」	団子(白・抹茶・ココア・紅)/ぜんざい あんみつ/みたらしの餡 クルミ味
ブックカフェ	親子フランクフルト/フルーツジュース らぶちゃんの特製ドリンク
アメリカソウダ屋さん	コールドジュース
おしるこ小町	おしるこ
KENEI KITCHEN	フレンチトースト
名和田研究室	ベビーカステラ
すべしやる瓦そば	瓦そば
フライドポテト	フライドポテト
クッ研の手作り肉まん	肉まん
キーマカレー&ミルクティー	キーマカレー/ミルクティー
赤吉	やきとり
三匹の子豚	フランク/豚串/おでん/ドリンク
MISORA	揚げタコ/チュロス
BAR SEIRIN	たこ焼き/焼きそば
その他の出店	
アロマサロンティユル (14日のみ)	アロマハンドトリートメント ヘッドマッサージ(15分500円)
数秘リーディング(15日のみ)	数秘リーディング(15分500円)

地元有名店も出店！

美味しいグルメを召し上がれ！

もぐもぐランド



某有名テーマパークの
チケットが当たるよ!!



15日のみ ビンゴ大会

- キッズ向け 15日(日)15:00~ ステージにて
- 学生向け 15日(日)後夜祭内で 体育館にて

両日開催 スタンプラリー

両日開催 ホラーゾーン(お化け屋敷)

学友会企画



子どもも大人も楽しめる!

飛鳥祭 今年の思い出...



宝探しではたくさんのご家族に参加していただきました。



子どもたちは工作に夢中
できあがった作品に大満足!!



素敵な演奏を
ありがとうございました!!



ステージでは色々なゲーム
楽しかった。



地元の有名店舗の出店で
さらに盛り上がった模擬店



学生の模擬店は
個性のあるおもしろ屋台がたくさん!!

祝

2018年4月
開学決定!!

4年制 人間文化学部 & NEW 短期大学部 開学記念シンポジウム

●日時：平成29年10月14日(土) 14:00~16:10 ●場所：大講義室

学部・学科
概要説明



記念講演

元学長・名誉教授 藤岡 大拙 氏



パネルディスカッション
(学長・卒業生・在校生)

コーディネーター
山陰中央新報社 高尾 雅裕 氏

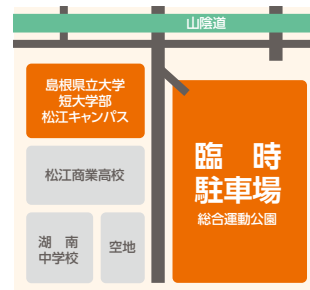


島根県立大学短期大学部
松江キャンパス

〒690-0044 島根県松江市浜乃木7-24-2
TEL:0852-26-5525(代) FAX:0852-21-8150
<http://matsuec.u-shimane.ac.jp/>



お車は右案内図のオレンジ色の場所に駐車可能です。



平成 29 年 保健管理センター健康教育講演の開催について

1. 演 題 名

「新しい健康法としての“正しい糖質制限”-生活習慣病予防のために-

2. 目 的

講演を通じて、学生、教職員、地域住民に人間本来の機能に基づく“正しい糖質制限”を理解していただき、生活習慣病予防に役立ててもらうこと。

3. 日時／場所

- 【第 1 回目】平成 29 年 10 月 25 日（水）15 時 00 分～16 時 30 分
／〔浜田キャンパス〕 講義棟 中講義室 6
- 【第 2 回目】平成 29 年 12 月 20 日（水）16 時 20 分～17 時 50 分
／〔松江キャンパス〕 体育館 1 階 研修室
- 【第 3 回目】日時未定
／〔出雲キャンパス〕 ※後日発表

4. 内 容

糖質中心の食生活を続けていると、内臓脂肪による肥満から、食後高血糖、高血圧、脂質異常が同時に起こるメタボリック症候群、そして糖尿病、動脈硬化、慢性腎臓病、心筋梗塞、脳卒中、ガン、認知症などの生活習慣病へとドミノ倒しのように次々と病気が襲ってきます。また、動悸、手足のしびれ、筋肉のこわばり、あるいは頭痛などの症状が出てきて、精神的にはイライラしたり、不安感が募ったり、恐怖心にかられることもあります。そこで、低糖質食によって糖質を優先してエネルギーを得る糖質代謝から脂肪の燃焼を優先する脂質代謝への体質を改善させることにより、すべての生活習慣病の原因であると考えられている血糖値の乱高下、インスリン過剰分泌、活性酸素過剰分泌などを防ぎ、人間を健康長寿、病気予防へ導くことができます。今回は、糖質過剰摂取の弊害、失敗しないで・一生続けることのできる正しい糖質制限の実践法、正しい糖質制限の効用などについて分かりやすく解説します。とくに正しい糖質制限の効用については、最近、注目されているケトン体（βヒドロキシ酪酸）の減量、糖尿病、動脈硬化、てんかん、うつ病、認知症、がんへの効能、アンチエイジング効果などに関して話します。さらに、正しい糖質制限導入による、血糖値変動の実例・疲労感減少などについても紹介します。

この講演を機会に、失敗しないで・一生続けることのできる正しい糖質制限の実践法について理解し、生活習慣病予防について、食生活面から振り返るきっかけになれば幸いです。

5. 講 師

公立大学法人島根県立大学保健管理センター長 秦 幸吉（はた こうきち）

島根県立大学 出雲キャンパス 看護学部 教授。

島根医科大学卒業。医学博士。日本産科婦人科学会認定産婦人科専門医・指導医。日本超音波医学会認定超音波専門医・指導医。香川県立保健医療大学名誉教授。日本ファンクショナルダイエット協会認定シニアケトジェニックダイエットアドバイザー。

6. 対 象 者 学生、教職員、参加希望の一般の方 ※申し込み／参加費 不要。 (直接会場へお越しください。)

平成 29 年 10 月 13 日
島根県立大学
事務局地域連携課
担当：河部
電話：0855-24-2396

【資料 4】

平成 29 年度「フレッシュマン・フィールド・セミナー」開始

～地域の課題発見と課題解決能力を習得～

島根県立大学総合政策学部では、初年次より全員がゼミナールへ所属します。平成 23 年度より、1 年次の秋学期に実施している「フレッシュマン・フィールド・セミナー」は、春学期の「フレッシュマン・スキル・セミナー」で学んだアカデミック・スキルを活用しながら、様々な現場（フィールド）での調査、課題解決策の提案方法を習得することで学習目的を明確化し、主体的に将来像を描く力を身につけ、2 年次から始まる専門教育への橋渡しを目的とするセミナーです。

今年度も秋学期から開講し、10 月 5 日より授業を開始しています。全 15 回のうち、事前学習に始まる概ね 10～13 回の卓上調査と、2～5 回のフィールド調査で構成され、グループ学習を実施する場合は、少人数のグループを組み、協同作業による自発的で能動的な学びを実践していきます。学期末にはポスターセッション形式の合同成果発表会を開催し、報告書を作成します。

※各クラスの担当教員の指導のもと、随時全受講生がクラスごとに地域の現場に出かけていきますが、クラスによって取り組むテーマや取材・調査先は異なります。詳しくは、別紙の〈参考資料〉をご参照ください。

●ゼミナールの流れ（学年進行に合わせてステップアップしていきます。）

学年	授業	内容
1 年次	【春学期】 フレッシュマン・スキル・セミナー 【秋学期】 フレッシュマン・フィールド・セミナー	・ 大学で学ぶための必要な技術の習得。 (課題調査・分析方法、レポート作成等) ・ 学習目的を明確化し、主体的に 将来像を描く力の習得。 (フィールド学習、課題解決策の提案等)
2 年次	総合演習Ⅰ／Ⅱ	専門分野の学習。
3 年次	総合演習Ⅲ／Ⅳ	修得した諸科学分野のスキルをもって 各自で問題を探究する。
4 年次	総合演習Ⅳ／Ⅴ／卒業研究	卒業研究に向けての演習授業。

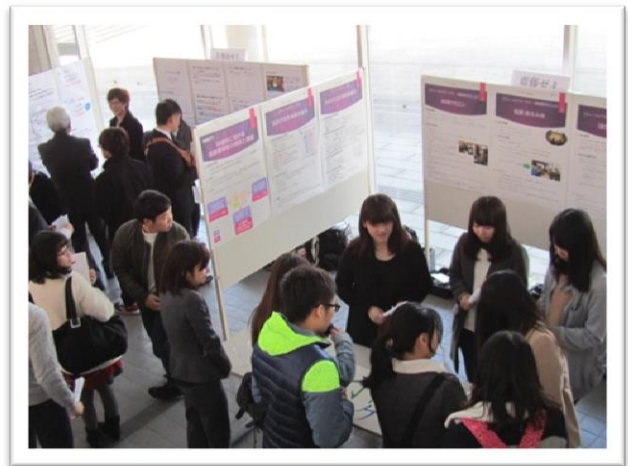
【昨年度の様子】

◎島根県内、浜田市、近隣地域等、現場（フィールド）に出て調査を行います。

フィールドの様子だけでなく、フィールドにおられる方々からお話も伺います。



◎成果報告書をまとめ、学期末にポスターセッション形式で発表します。



〈参考資料〉

平成 29 年度 フレッシュマン・フィールド・セミナー 授業概要一覧

教員名	テーマ・概要等	フィールド
井上(厚)ゼミ	【「多様性」について考える】 地方都市が今後生き残るためには、外部から来た人間との共生が不可欠な時代になっている。積極的に外に出て、大学の外に広がる「多様性」を学んでおきたい。具体的には、①東京から I ターンした若者で活気づく津和野町の NPO との交流、②広島市内でカンボジア料理店を営むカンボジア難民サルーンさんとの意見交換会を通して、リアルな「他者」との共生について学んでいきたい。	・島根県津和野町 ・広島県広島市
瓜生ゼミ	【浜田の未来を探る～IT 発信は、地域をどう変える!?～(仮題)】 (株) e-Front 島根支社さんは【「旅行」「教育」の領域でイノベーションを起こす!】をテーマに、「旅行業務総合支援システム」の開発や「浜田商業高校 I T 人材育成事業」「スマホアプリ デザインコンテスト」などを通して、「イノベーションをテクノロジーで加速させるコミュニティ」作りを目指している。「旅行」の分野では海外からの観光客と [地元観光協会] [旅行会社] [旅行代理店] 等をシステムティックに結合させる「訪日旅行商品販売サービス=DokodemoTourism」などを展開し、「教育」の分野では「遠隔教育支援サービス」で「学ぶ側=生徒」と「教える側=講師・塾」に「保護者」や「地域」をも巻き込んだ総合的なシステム・サービスをプランニングするなど、IT 技術を駆使したサービス展開を行う企業として注目されている。この『IT を地域に活かす』試みの活動内容を把握すると共に、その将来性にも着目してみたい。	・(株) e-Front 島根支社
川中ゼミ	2004 年に犯罪被害者等基本法が成立し、犯罪被害者支援はより良いものへと変化しつつあると言われている。しかし、被害者支援がどのように行われているのかということは、当事者以外にはあまり知られておらず、現在の在の被害者支援には多くの課題がある。犯罪が起こると、被害者や家族の方々が周囲の人の言動や行動でさらに傷つくことが多々あるようだ。これは、犯罪が起こると、マスコミも支援者も自分の立場を優先させてしまい、被害者の気持ちや状況に思いを及ぼすことが出来なくなってしまうからだろう。そのような中で、犯罪被害者やその家族の方々の中には、犯罪を少しでも減らしたり犯罪被害者支援システムを築くために、社会に向けてご自身の体験やお考えを発信し続けている方が少なくない。そこで、本ゼミナールでは、犯罪被害者やその家族の方々のお話を伺ったり、ミニいのちのメッセージ展への協力や見学をすることで、犯罪被害者支援に実際とその課題を知り、犯罪被害者中心の支援について考えていきたい。	(調整中)
久保田ゼミ	日本では、全企業の 99% を中小企業が占め、全従業員の約 70% が中小企業に勤務するなど、中小企業はわが国経済の活力の源泉であり、地域経済を支える大きな存在である。本ゼミナールでは、島根県を代表する漁業者である株式会社浜田あけぼの水産を調査対象として取り上げる。株式会社浜田あけぼの水産は浜田漁港において複数の船団を有する唯一の事業者で、地域では最大規模の沖合底引網漁業者ある。また、同社は 1924 年に創業し、水産物缶詰加工、石州瓦の製造・販売、冷凍倉庫事業などを行っていた株式会社室崎商店が中核事業である漁業を同社に事業譲渡で事業再生させたことよって誕生した経緯があり、地域企業の事業再生の観点からも注目される企業である。本ゼミナールでは同社の取組を調査することを通じて、企業を調査するうえでの手法を学ぶとともに、企業の抱える課題やその解決策、企業の事業展開の取組みについて学ぶことを目的とする。調査対象企業の事業所の見学や関係者へのインタビューを通じて、同社の強みや課題、今後の方向性などを考察し、最終的にその成果を学内や関係者に向けて発表を行う。	・(株)浜田あけぼの水産

齋藤ゼミ	このセミナーでは、「地域における高齢者福祉の現状と課題」をテーマに、全国的にも高齢化が進む浜田市で、高齢者の方々をどのように支えていくのかを考えていきます。具体的には、地域福祉を支える側（地域包括支援センター、社会福祉協議会）と支えられる側（高齢者）の両方を対象に下記の三回のフィールドワークを行い、地域における高齢者福祉の課題を多角的に理解します。	<ul style="list-style-type: none"> ・浜田市役所 ・浜田市社会福祉協議会
田中ゼミ	本演習では、島根県内の企業を中心とした（場合によっては行政、NPO等）事業者へのヒアリング調査を実施し、①対象企業の業務内容、経営課題、主力商品、重点戦略等を理解した後、②当該企業のマーケティング戦略（製品、価格、販売促進、流通）について、各企業が具体的にどのような戦略対応を行っているのかを事例調査を通じて明らかにする。本調査を通じて島根県内での企業におけるマーケティング戦略の現状や課題について理解し検討を行うことを目的とする。	<ul style="list-style-type: none"> ・(株)松永牧場、関連会社4社（予定）
豊田ゼミ	島根県西部（石見地方）には、地元の人も知らないとても素敵な地域資源があります。この授業では隠れた地域資源の一つ「石州犬」を取り上げ、事前学習、現地視察、文献調査、アンケート調査を実施し、石州犬の価値について調査しながら、地域資源の活用について地元の方と一緒に考えることを目的とします。日本には、現在6犬種が国の天然記念物として認定されています。大型の秋田犬、中型の甲斐犬、紀州犬、四国県、北海道犬、そして小型の柴犬ですが、柴犬だけ地名がありません。しかし、この柴犬のルーツを遡ると、一頭の雄犬にたどり着きます。その犬こそ、石見地方に生息していた「石州犬の石（いし）」です。いま、柴犬のルーツはこの地域にあるのではないかと、誰がどのように日本全国にまで広げていったのだろうか、といった研究が始まったところです。FFSでは、地域資源としての「石州犬」の価値を評価するとともに、認知度を上げるための具体的な取り組みについて、石州犬研究室や日本犬保存会の方々と一緒に考えていきたいと思えます。	<ul style="list-style-type: none"> ・日本犬保存会島根支部 ・石州犬研究室
林ゼミ	地酒（日本酒）は、それぞれの地域の地場産業であり、地域文化とも密接に関係していると考えられる。その日本酒は、近年、世界的に注目されているにもかかわらず、日本国内ではさまざま理由で需要が伸び悩んでいるのもまた事実である。この授業では、酒蔵や酒類販売業者などを訪問し、見学や聞き取り調査などをおしてそれぞれの現状や課題を学び、地場産業としての地酒振興や日本酒文化の振興について考える。また、受講者のほとんどが未成年であることを想定し、適正飲酒の啓発や酒税の理解についても意識して授業を行う。また、授業内容は、受け入れていただく酒蔵や酒類販売業者などとの調整の結果、変更されることもある。	(調整中)
福原ゼミ・佐藤ゼミ (合同ゼミ)	本フレッシュマン・フィールド・セミナー“北東アジア・国際関係”は、福原教授と佐藤准教授がジョイントでおこなう。福原教授と佐藤准教授がそれぞれ担当するゼミでおこなう指導内容やスタイルなどの特徴を維持・尊重しつつ、「戦争の記憶と体験（戦争と平和）」、「北東アジアの人びととの交流と共生」をテーマにした共通のフィールド体験・調査をおこなうことにより、北東アジア地域研究、国際関係研究にまつわる初歩的な諸課題を発見し、これらについての関連知識を収集・整理して、課題の解決策を考察・模索することを目的とする。	<ul style="list-style-type: none"> ・出雲市国際交流室 ・出雲市社会福祉センター日本語教室 ・都茂丸山銅山跡 ・千原取水堰堤 ・澄川発電所等
藤原ゼミ	紺屋町空き店舗を利用し、アイデアを練り、起業し、サービスの立ち上げ過程を経験する。創意工夫する喜びと苦しみを体験する。学生の地域に対する貢献のあり方を学ぶ。また学問的にはコミュニティアクション研究の分析枠組み中で、行動を分析し、社会科学のあり方を学ぶ。そこでは目標達成、目標の正当化、資源の動員などの過程を意識しながら実験を実施する。	<ul style="list-style-type: none"> ・浜田市紺屋町

別枝ゼミ	<p>「ふるさと納税」(浜田市では「ふるさと寄付」とは納税額の一部を好みの自治体に納めると減税措置を受けられる仕組みです。話題になったのは、自分の自治体を「寄付先」に選んでもらおうと、各自治体が寄付をした納税者にさまざまな「返礼品」を贈るからです。浜田市は2015年に約21億円、2016年は約15億円の「納税」を集めました。浜田市は3年連続全国のベスト10にランク入りしています。カタログの中から納税者が希望で選べる返礼品で人気を集めたのは、浜田産のノドグロや島根和牛などでした。昨年度は返礼品業者のピアリングを中心にし、浜田市に対しては納税者(合計で15万人程度)に対して毎年2回程度の印刷物(ふるさと納税だより)を郵送し、その中で浜田及び近隣の観光案内を行う。また「はまだ応援団」への勧誘を行うことなどを提言しました。今年度は、これまで浜田に寄せられたふるさと寄付がどのような使われ方をしたかを点検し、今後の望ましい用途を浜田市に対して提案しようと考えています。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 浜田市
光延ゼミ	<p>2016年7月の参議院選挙から18歳以上の若者も選挙に参加できるようになった。これに伴って全国で240万人もの新有権者が誕生した。この意味で2016年は、政治参加の制度が大きく前進した歴史的な年(メモリアルイヤー)にもなったのである。しかしながら、この選挙での新有権者の投票率は期待されたほど高くはなかった。従来、非都市部が高く都市部が低い、通説的な若者の投票傾向とは逆に、非都市部の方が低く、しかも、中でも19歳の投票率は20歳以上に比べても全国的に低かったのである。このクラスでは、政治参加の拡大を目指した制度と、新有権者の投票選択との間に潜む、地域社会における「選択のジレンマ」について、選挙を実施した行政機関とそれを報道したメディアを対象に、近年、経済学や統計学、さらには政治学などでも注目を浴びている因果関係推論を意識して考える。なお、この授業では、「国際関係」「社会経済」「地域政策」のプログラムが適格的である。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 広島市 ・ 岡山市
山本ゼミ	<p>今日、ロシアの国際社会における存在感は、誰にとっても無視しえないものになりつつある。日本はロシアの隣国であり、領土をめぐる対立もある。しかし、他方では経済を中心に極東ロシアとの発展させている地域がある。島根県もその一つである。本セミナーでは、島根県におけるロシアの存在感を見つめ、島根県とロシアの関係の実情を理解し、問題点を発見する。さらにはその解決策について考え、提案することを目指す。そのために、実際に浜田市役所、浜田港湾振興センター、(株)エル・アイ・ビー等を調査する。また、その過程で、研究の基本的な方法を学ぶとともに、地方自治体も国際社会の重要なアクターであることを実感していただく。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 浜田市役所 ・ 浜田港湾振興センター ・ (株)エル・アイ・ビー
渡部ゼミ	<p>このセミナーのフィールドは津和野町です。津和野町は島根県の西部、山口県との県境に位置する山間の小さな都市ですが、古い町並みを残す「小京都」として知られ、県内有数の観光地となっています。このセミナーの目標は、津和野町における歴史を活かしたまちづくりの取組みを調査し、課題を発見し、解決策を提案することです。津和野町は交通の便が必ずしもよくなく、観光客の減少や過疎化などさまざまな課題を抱えています。しかし昨年、津和野町は文化庁によって日本遺産に指定されました。町はこれを好機に、歴史的な文化財を活用した観光振興にこれまで以上に力を入れようとしています。このセミナーでは、3回の現地調査を行い、現場の観察と、まちづくりに携わっている人びとへの聞き取り調査を通じて観光振興のための真の課題はどこにあるかを考え、津和野町の町づくりに役立つ提言を考えてもらいます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 津和野町

(クラスは五十音順)

※授業の進行の過程において、内容を一部変更する場合があります。フィールド調査等の授業スケジュールは、クラスによって異なります。

平成 29 年 10 月 13 日
島根県立大学 浜田キャンパス
アドミッション室 松崎・有藤
電話 0855-24-2203

【資料 5】

自己推薦入試（総合評価型 A0 入試）出願受付開始について

1. 自己推薦入試（総合評価型）について

本学では、従来の推薦入試（全国一般・県内一般）及びアドミッションオフィス入試を一本化し、平成 27 年度入試より総合評価型の自己推薦入試を実施しています。

「総合評価」とは、総合課題、面接試験及び大学入試センター試験と提出された書類（志願理由書、出身学校の調査書）より、能力・適性、学習意欲、目的意識、表現力等を総合的に評価し、判定を行うものです。

10 月 16 日(月)から 20 日(金)まで、出願を受付けます。

2. 試験スケジュール

内 容	日 程
出願期間	平成 29 年 10 月 16 日(月) ～ 10 月 20 日(金)
総合課題	平成 29 年 11 月 4 日(土)
面接試験	平成 29 年 11 月 4 日(土) ～ 11 月 5 日(日)
大学入試センター試験	平成 30 年 1 月 13 日(土) ～ 1 月 14 日(日)
合格発表	平成 30 年 2 月 7 日(水)
入学手続期間	平成 30 年 2 月 8 日(木) ～ 2 月 14 日(水)

3. 出願資格

次の各号をすべて満たす者とします。

- (1) 平成 28 年 3 月から平成 30 年 3 月までに高等学校もしくは中等教育学校の後期課程を卒業した者及び卒業見込みの者、または同期間に通常の課程による 12 年の学校教育を修了した者及び修了見込みの者、または学校教育法施行規則第 150 条（第 6 号を除く）の規定により高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者及び平成 30 年 3 月 31 日までにこれに該当する見込みの者。
- (2) 合格した場合には必ず入学することを確約できる者
- (3) 学業成績の全体評定平均値が 3.5 以上の者

(参考：平成 29 年度自己推薦入試実施結果)

	募集 定員	出願者数		受験者数		合格者数		入学手続き者数		入学辞退者数		入学者数			志願 倍率	実質 倍率	
		県内	()	県内	()	県内	()	県内	()	県内	()	男	女	県内			
自己推薦入試(総合評価型)	75	79	(40)	78	(40)	77	(40)	75	(40)	0	(0)	75	(46)	(29)	(40)	1.05	1.01

自己推薦入試の概要について

1. 募集人員

75名

募集人員の45人を島根県内の高等学校等からの受験者から成績順に選抜し、次に募集人員の30人を島根県外の高等学校等からの受験者及び45人の選抜枠に入らなかった島根県内の高等学校等からの受験者から成績順に選抜。

2. 選抜方法

(1) 概要

総合課題、面接試験及び大学入試センター試験と提出された書類（志願理由書、出身学校の調査書）により、能力・適性、学習意欲、目的意識、表現力等を総合的に評価し、判定。

(2) 各選抜方法について

試験日	選抜方法	内容
11/4 (土)	総合課題	○模擬講義を実施 ○講義終了後に講義内容の再現能力、即応力、応用展開力をみる社会科学系の総合課題を実施
11/4 (土) 5 (日)	面接試験	○出願書類に基づき、本人の能力・適性、学習意欲、目的意識、表現力等を面接により総合的に判定 ○面接時間は25分程度
1/13 (土) 1/14 (日)	大学入試センター試験	国語
		地歴・公民
		数学
		理科
	英語 (リスニングテスト有)	必須

} この中から1科目を選択

※出願等について

項目	日程
出願期間	平成29年10月16日(月)～平成29年10月20日(金)
合格発表	平成30年2月7日(水)
入学手続期間	平成30年2月8日(木)～平成30年2月14日(水)

3. 配点

個別学力検査		大学入試センター試験					合計
総合課題	面接試験	国語	地歴・公民	数学	理科	英語	
配点 300点	配点 400点	100	(100)	(100)	(100)	100	1000
配点 300点							

(注) 表中の()は、同種類の括弧の中から1科目を選択することを表します。

平成29年10月13日
島根県立大学出雲キャンパス
担当者：河瀬一美・澤田仁美
電話：0853-20-0200(代)

護身術講習会について

1. 趣旨

本学では、防犯対策として、毎年新入生オリエンテーション時に出雲警察署、かわと交番の方にお越しいただき、防犯の講演を実施しています。大学周辺地域においては、過去に不審者出没事例などもあり、学生自身が自衛の自覚と心構えを持つこと目的に例年実施しています。

2. 日時

平成29年10月18日（水）午前9時30分～午前10時30分

3. 場所

島根県立大学出雲キャンパス 体育館

4. 企画者

島根県立大学出雲キャンパス 学生生活委員会

5. 講師

出雲警察署生活安全課、かわと交番

6. 対象者

本学1年次生 約80名

第22回



ボランティア報告会

Chiren Cafe

2017.10.18 (Wed)

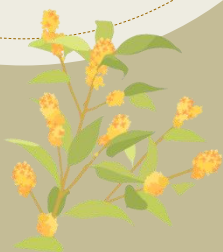
OPEN:15:00 CLOSE:16:20

※入退場は自由です

Place :ラーニング commons<メディアセンター>

※メディア利用者カードをお持ちでない方は
身分証明書をお持ちください。

- ・ドリンクつき
 - ・参加費無料
 - ・予約不要
- ※一般の方の参加も大歓迎です!



広域圏子ども交流事業

毎年夏に行なわれる広域圏子ども交流事業では、学生スタッフが企画会議から参加させていただき、活動のプログラム作りから考えています。今年も8月8~10日の2泊3日の日程で民泊体験や郷土学習、自然体験を通して故郷の良さを発見する、学びのお手伝いしました。県内外から来た学生が見た浜田広域の魅力を聞かせてもらいます。



Let's connect in HAMADA

普段関わりの少ない島根県立大学の留学生と、地域の子もたちが外国の遊びを一緒に楽しみ、外国の料理を一緒に作るプログラムを、8月5日海見える文化公園で開催しました。「みんながつながるプロジェクト」の取り組みとして、日本人学生と外国人留学生が考えた企画が実現したものです。



こころのかけ橋

浜田市教育委員会が行っている事業「居場所づくり こころのかけ橋」は学校に行きにくい児童・生徒一人ひとりのニーズやペースに応じて、スポーツ活動や自主学習、相談などを行ない大学生ボランティアも時間を共有しています。

お問合せ:島根県立大学浜田キャンパス地域連携課
0855-24-2396

主催:地域連携推進センター